

2020年9月1日

愛知学院大学新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのガイドライン

学生・教職員等大学の構成員は、これまで学内で取り組んできた感染防止対策を踏まえ、国の専門家会議で示された「新しい生活様式」を積極的に実践し、通常授業への移行を進めつつ、一方で三密（密閉、密集、密接）や、大勢で集まることは控えるなど、日々の生活の中に感染拡大予防策を取り入れて行動するものとします。

なお、このガイドラインは今後の感染拡大状況の変化や政府および愛知県の政策等により都度改訂することを想定しています。

1. 基本事項

- 1) 本学キャンパスへの入構時（学外者を含む）には、マスク装着をお願いします。
- 2) 「新しい生活様式」の積極的な実践と自身の健康管理に留意してください。各自で携帯できるウェットティッシュ（アルコールタイプ）等を持参することも推奨します。
- 3) 発熱や咳等の症状がある場合や体調がすぐれない場合には、入構を禁止します。
- 4) 各施設の入口については、動線に留意し消毒液の設置場所を複数箇所配置しますので、入館時には各自で手や指の消毒を行ってください。
- 5) 各施設においては、施設管理業者や研究室等の担当者が最低一日一回、ドアノブ・什器等の拭き掃除等に取り組みます。
- 6) 各部屋の利用者は、扉の開放に努めてください。扉の開放が利用用途に支障をきたす場合は、一定の時間間隔で扉を開放して換気を行ってください。
- 7) 各部屋の利用者は、窓を常時又は一定の時間間隔で開放して換気を行ってください。天気や利用用途により常時窓を開放することが困難な場合は、可能な程度での窓の開放や、換気装置の作動により換気量の確保に努めてください。
※名城公園キャンパスにおいては、強制換気が行われています。
- 8) エレベーターの利用は、体の不自由な方等の優先利用のほか、台車利用の方に限定します。
- 9) 図書館や学部・研究科の学習室等、施設単位で感染拡大予防のための適用基準が設けられている場合には、本ガイドラインのほか、各運用基準に従ってそれぞれの施設を利用してください。

2. 日常生活における衛生管理等

- 1) 毎朝の検温と体調の確認を習慣としてください。発熱や咳、だるさなど体調の不調を感じた時は外出しないでください。

- 2) 石鹸を使用し、30秒以上の手洗いとうがいを励行してください。
- 3) 手指消毒用アルコールを使用してこまめに手指消毒を心がけてください。
- 4) 会話時や対人距離の確保が困難な場合はマスクを着用してください。熱中症対策やのどの渇きを防ぐために、こまめに水分を補給するよう心がけてください。
- 5) 他者に感染させないために、咳・くしゃみをする際、マスクやティッシュ、ハンカチ等を使って口や鼻を抑える。さらに周囲の人から顔を背け、できるだけ離れるよう心がけてください。
- 6) Social distanceを保つよう心がけてください。
- 7) 混雑している場所に出かけるのは控え、不要不急の場合は混雑する時間をさけるよう心がけてください。
- 8) 万一感染した場合に備え、感染経路が特定できるよう行動の記録を心がけてください。
- 9) 厚生労働省から発表された新型コロナウイルス接触確認アプリ（略称：COCOA）をスマートフォンにインストールしてセットアップすることを強く推奨します。

3. 授業の運営について

授業は三密の回避に配慮し感染拡大予防をしたうえで、対面授業と Web を利用した遠隔授業の併用で実施することを前提とします。

- 1) 授業の実施方法の変更に当たっては、余裕を持って学生に情報提供するなど、余裕のあるスケジュールでお知らせします。
- 2) 各授業での教室人数は新型コロナウイルス感染症行動指針に基づいて運営します。
- 3) 授業時間内は必ずマスク着用をお願いします。
- 4) ドア、窓を開けるなど、換気に努めます。

※名城公園キャンパスにおいては、強制換気が行われています。

- 5) 学外で実習、フィールドワーク等を行う場合には、利用施設が定める感染予防マニュアル等に従い実施してください。また、グループで活動する場合には、少人数で編成する等の工夫を講じるとともに、公共交通機関を利用して移動する場合には可能な限り混雑する時間を避けて移動する等、感染拡大の予防に努めてください。

4. 食堂の利用

- 1) 混雑時には入場制限を実施する場合があります。
- 2) 食事中以外はマスクの着用をお願いします。
- 3) 食堂内での滞留時間を短縮するため、店内飲食だけでなくテイクアウトサービスを実施します。
- 4) 従業員と利用者の間は、フェイスシールドやビニールシート等により遮蔽します。
- 5) 座席は、対面着席、隣席への着席とならないよう間隔を空けるようにしてください。
- 6) 利用者には大声での会話は控えるとともに、食事等が終了次第速やかに退店し、滞留時間を短くするよう努めてください。